

チウラムへの土壌マトリックスの影響(1)

1. 土壌試料中の共存物質の影響を受け、チウラムが経時的に減少するサンプルがある

■プロトコル

土壌試料溶出液のアセトニトリル溶出液にチウラムを添加し、チウラムの安定性を確認しました。

PS@Liqシリーズ

コンディショニング アセトニトリル 10 mL
超純水 10 mL

← 土壌溶出液600 mL^{注1)}
← 10%EDTA溶液12 mL
← pH3.5調整(塩酸1+10)

高速通液 50 mL/min

脱水 遠心脱水
3000 rpm 10分

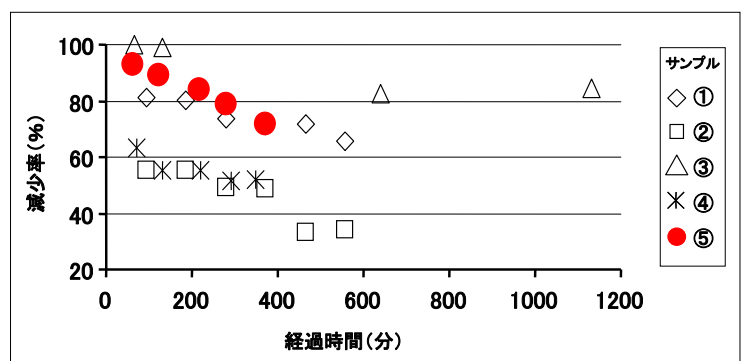
溶出 アセトニトリル3 mL
⇒ 溶出液

← 標準液 150 μL

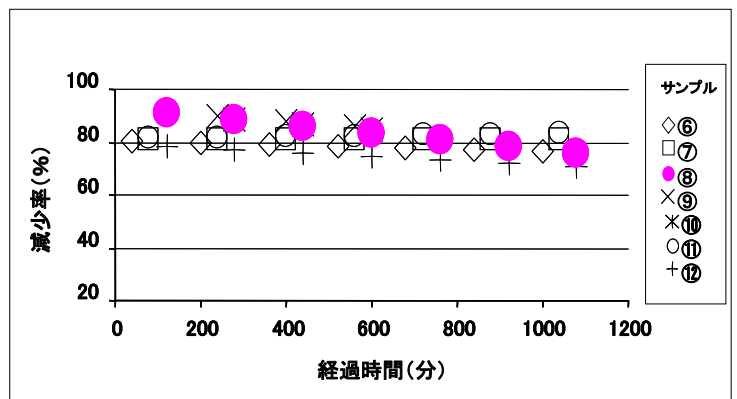
定容 上記溶出液で
1.5 mLに定容

HPLC

チウラム濃度の経時変化(1) PS@LiqHQ



チウラム濃度の経時変化(2) PS@Liq HQ



農薬成分名	標準液濃度	添加量
チウラム	3 μg/mL	0.45 μg

■参考法令 平成3年環境庁告示第46号^{注1)}

昭和46年環境庁告示第59号

■出典 八木有寿*、管雅英*他 第15回環境化学討論会 講演要旨集p202-203 2006年

*株式会社オオスミ